

保健活動リレーエッセイ

“まちの健康支えます！”

玉東町 保健師 肥合博子

経験や出会いに学びながら、前に進んでいきましょう

この度の熊本地震で被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。今も現場で頑張っている保健師はじめ自治体職員、そしてボランティアの皆さまに敬意を表したいと思います。

今回の地震は、身をもって体験しなければ真に理解できないことがあることを思い知らされる出来事でした。体験から学ぶことは皆さまにもたくさんあるかと思いますが、今回は私の拙い経験を思い返してみました。

「普通の人には貴重なお話はお金を払ってでも聞きに行くでしょう。でも、保健師さんはお金（給料）をいただいて人さまのお話を聞くことができる恵まれた人たちですね。そのことを大切にしないとね」。高齢の御婦人から言われた今も忘れられない言葉です。保健指導や調査など私たちに課せられた使命はたくさんあるけれど、人に出会いその人に学ぶ意味を考えさせられた言葉でした。

現代はテレビやインターネットから多くの情報を手軽に得ることができ、私たち保健師には、より詳しい知識と説明力が求められるようになってきています。そのような中、時には町民の人から厳しい言葉をいただくこともあると思います。とても辛いけれど、その人と出会う意味を心に刻み自分を成長させる機会だと思って踏ん張ってみませんか。後できっといいこともあるはず。

「本で学び、人に学び、経験に学ぶ」。その繰り返しの中で少しでも前に進んでいる自分の姿を想像しながら、今日出会う人を大切にしていきましょう。



保健介護課の保健師。筆者は前列右

次号執筆者は和水町の木原泰代保健師の予定です。